

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】東川町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
18	2007.3.29			北海道	東川町	7,701	247.06
構想の要約		製材廃材利用によるガス化発電システムで発生した熱、電力を製材加工事業所エリアにてエネルギー利用する。また林地残材を炭化し、農業用暖房用燃料・土壌改良剤として普及させ、地球温暖化の防止と地域循環型農業形成を推進する。さらに、廃食用油を収集しBDF化し、町内車両の燃料とし、戦略的産業の育成と町内の農林業の活性化を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスプラント（ガス化発電システム）（加熱蒸気式炭化炉） ・林地残材収集事業体設立運用 ・廃食用油精製施設 ・堆肥センター 					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど		資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など					
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他(パルプ)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2007.3.29バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

・ガス化発電システムを導入し製材廃材の未利用分(炭素換算率 15.0%)を利用し、発生する電源および熱を100%利用する。

・一般家庭や事業所から排出される廃食用油全量(炭素換算率4.9%)をBDF(バイオディーゼル燃料)化し町内の車両の燃料として全量利用する。

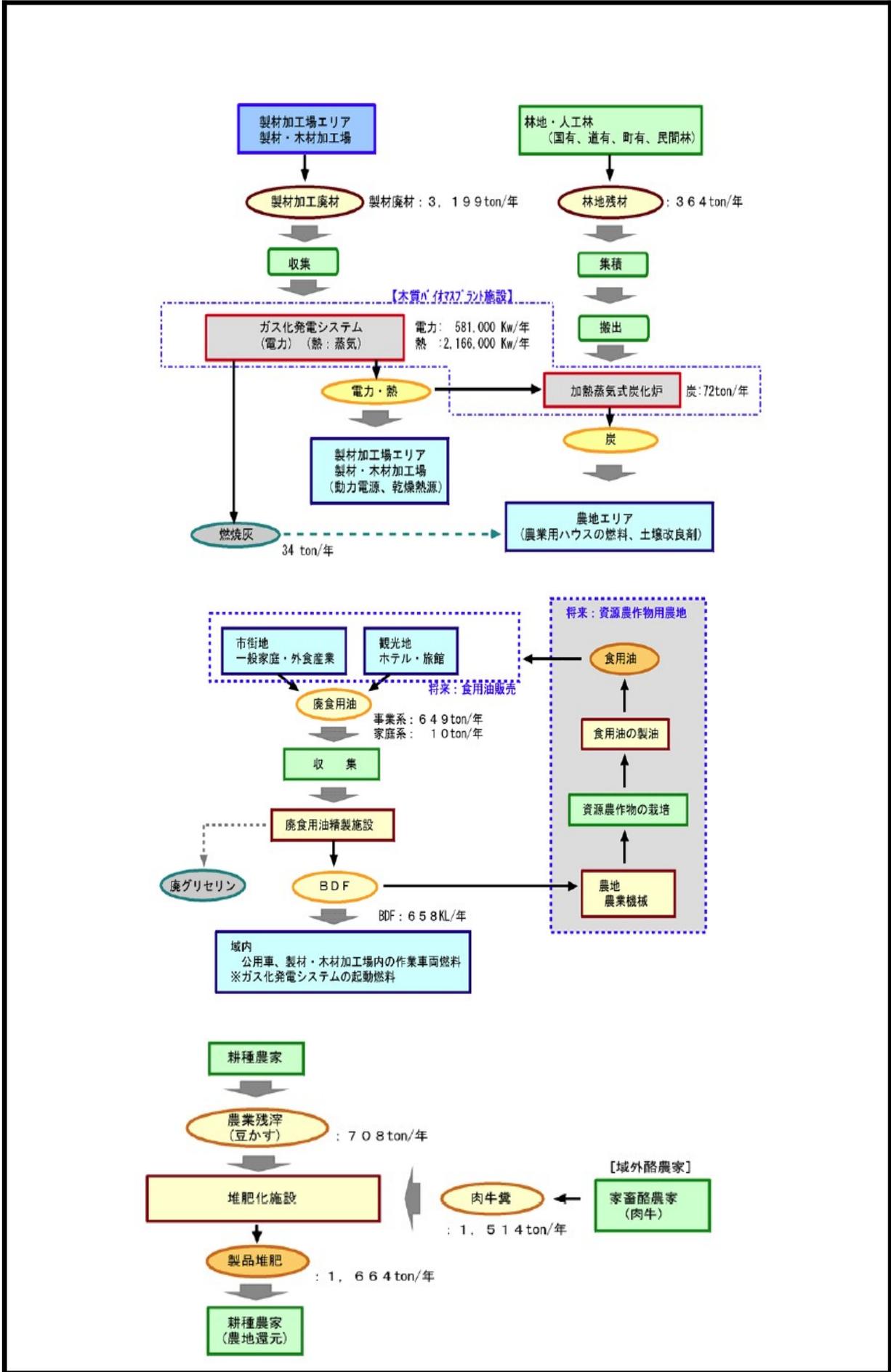
【廃棄物系バイオマス:現在の炭素量換算利用率79.0%から98.9%の利用率(平成22年度)となる。】

・林地残材の利用可能可採量 20 %(炭素量換算率1.5%)を炭化して炭製品として利用する。

【未利用バイオマス:現在の炭素量換算利用率26.9%から28.4 %(平成20年度)の利用率となる。】

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--